

○計画期間:令和元年7月～令和7年3月(5年9か月)

○評価期間:令和5年4月～令和6年3月(令和5年度)

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和元年6月に国の認定を受けた、高松市中心市街地活性化基本計画について、「来まい・住まい・楽しみまいーコンパクト・エコシティ たかまつー」をコンセプトに、計画に掲載された全49事業が活性化に向けた相乗効果をもたらすよう、官民が連携し、中心市街地の活性化に取り組んでいる。

計画に掲載された全49事業の進捗状況は、9事業が完了しており、34事業が継続実施中、6事業が未完了となっている。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類感染症に移行されたことにより、経済活動が活発化され、インバウンドの増加やイベントの開催など、にぎわいが回復され、各指標とも増加傾向となってきている。

「中心市街地内の主要観光施設の年間入込客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加している。令和6年度は更に、国際線が全て復活するため、入込客数の増加が期待できる。

「歩行者等通行量」は、目標値設定後の令和元年度以降、目標を達成している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通行量は減少していたが、令和2年度以降は微増傾向にあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の9割程度まで回復している。

「新規出店数」は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、個人消費の持ち直しや、人流の回復により増加傾向となっている。しかし、目標達成には相当規模の出店数が必要であり、達成は厳しい状況となっている。

「中心市街地の社会動態」は、市全体の人口が減少傾向にある中でも、増加傾向となっている。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続くと見込まれる。

今後、インバウンドの大幅な増加も予測されており、経済活動が活発化することにより、更なる中心市街地のにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

## 【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

### (1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 地域)	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	令和6年度 (6年目)
人口	20,629人	20,373人	20,185人	19,964人	19,969人	20,282人	—
人口増減数	△106人	△256人	△188人	△221人	5人	313人	—
自然増減数	△194人	△209人	△223人	△186人	△239人	△259人	—
社会増減数	88人	△47人	35人	△35人	244人	572人	—
転入者数	1,036人	984人	1,002人	1,104人	1,114人	1,206人	—

### (2) 地価

(基準日：毎年1月1日)

(単位：円/m<sup>2</sup>)

位置	平成30年 (計画前年度)	令和元年 (1年目)	令和2年 (2年目)	令和3年 (3年目)	令和4年 (4年目)	令和5年 (5年目)	令和6年 (6年目)
磨屋町2番6外	408,000	423,000	440,000	438,000	438,000	445,000	454,000
築地町16番15	120,000	121,000	122,000	121,000	121,000	122,000	123,000
西の丸町10番6	241,000	244,000	248,000	247,000	247,000	250,000	254,000
御坊町10番16	133,000	134,000	135,000	132,000	130,000	129,000	129,000
南新町4番3	258,000	261,000	265,000	261,000	257,000	256,000	256,000
錦町一丁目210番	190,000	192,000	195,000	194,000	194,000	194,000	196,000
天神前7番4	154,000	156,000	158,000	158,000	158,000	158,000	159,000
藤塚町二丁目4番14	122,000	123,000	125,000	124,000	124,000	125,000	126,000
丸の内7番20	154,000	156,000	159,000	159,000	159,000	160,000	161,000
瓦町二丁目12番2	200,000	202,000	205,000	204,000	204,000	206,000	208,000
錦町一丁目269番1	147,000	152,000	158,000	159,000	160,000	161,000	162,000

## 2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第3期基本計画の認定から4年9か月が経過する令和5年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である新県立体育館整備事業や高松駅周辺開発事業の着手など事業の進捗が見られるものの、34事業が継続実施中、6事業が未完了となっており、引き続き、事業の着実な進捗を図られたい。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少していたが、令和5年度は高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加している。今後は令和7年3月に県立アリーナの開館、4月に大学の移転もあり、さらな

る入込客数の増加が期待される。

また、高松中央商店街の歩行者等通行量については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成しており、令和2年度以降微増傾向である。

新規出店数については、区域内のマンション完成に伴う人流の増加により増加傾向となっているが、目標達成には相当規模の出店数が必要であり、達成は厳しい状況となっている。そのような状況ではあるが、目標達成に向け、新規出店予定者を後押しするよう、創業支援制度や空き店舗を活用した出店補助等の施策を進められたい。

中心市街地の社会動態並びに、ことடன்3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られるが、市全体の人口が減少傾向にある中でも増加傾向であり、今年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、各種施策を効果的に実施することにより、居住人口の増加を図るとともに、併せて公共交通の利用が促進されるよう、乗り継ぎサービスの向上を初めとする各種施策の推進に努められたい。

今後は、アフターコロナにおけるインバウンドの大幅な増加や経済活動の活発化が期待されていることから、官民が連携し、基本計画に位置付けられている中核事業の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
サンポートエリアにおける高次(広域)都市サービス機能の充実による誘客力の向上	中心市街地内の主要観光施設年間入込客数	2,744 千人 (H30)	2,890 千人 (R6)	2,022 千人 (R5) 充足率 70%	C	②	②
中心市街地の魅力発信による回遊性の向上	歩行者等通行量	92,639 人 (H29)	97,721 人 (R6)	122,935 人 (R5)	A	①	①
	新規出店数	216 店舗 (H26~H30 累計)	271 店舗 (R1.7~R7.3)	186 店舗 (R1.7~R5.12) 充足率 69%	C	②	②
拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上	中心市街地の社会動態	886 人 (H26~H30 累計)	1,373 人 (R1.7~R7.3)	848 人 (R1.7.1~R6.4.1) 充足率 62%	C	②	②
	ことでん3駅の乗降客	31,751 人 (H29)	32,057 人 (R6)	30,401 人 (R5) 充足率 95%	C	②	②

<基準値からの改善状況>

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

① 目標達成が見込まれる(関連する事業等の進捗状況が順調)

② 目標達成が見込まれない(関連する事業等の進捗状況が順調)

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### 1. 「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」について

高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアムの4施設の合計値となる、主要観光施設年間入込客数の令和5年度の結果は、サンポートエリアにある高松シンボルタワーの入場者数は、前年比109%となった。また玉藻公園の入場者数は、コロナ前と同様まで回復し前年比128%と上昇したものの、4施設を含めた全体として目標達成は厳しい状況にある。

#### 2. 「歩行者等通行量」について

歩行者等通行量は、令和元年10月から、カメラによる計測を行っており、常時計測が可能となった。令和2年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通行量は減少していたが、イベント等のソフト施策が定着してきたことや、再開発事業の完成などにより、

目標値を達成した。

### 3. 「新規出店数」について

アフターコロナによって、出控え傾向であった人流が回復し、夜の飲食店利用や国際線の定期運航再開による訪日客の再訪など、個人消費は持ち直しの傾向にある。令和5年度の新規出店数は、42店舗と回復傾向となり、これまで状況からは改善されており目標達成に近づいてきているが、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響は依然として残ることが予想されるため、今後の状況を確認していきたい。

### 4. 「中心市街地の社会動態」について

中心市街地の社会動態については、市全体の人口が減少傾向にある中でも、増加傾向となっている。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和5年度の中心市街地の社会動態は471人となり、前年の297人から174人増加し、令和元年からの合算値では848人となった。令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続くと思込まれるものの、目標達成の見通しは厳しい状況にある。

### 5. 「ことでん3駅の乗降客」について

令和5年のことでん主要3駅の乗降客数は、アフターコロナによる観光客の増加等、人流の回復によって、定期利用を除く乗客数が前年比118%と増加したものの、通勤通学の定期利用は前年比103%とほぼ横ばい傾向となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年比90%と目標値を下回った。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

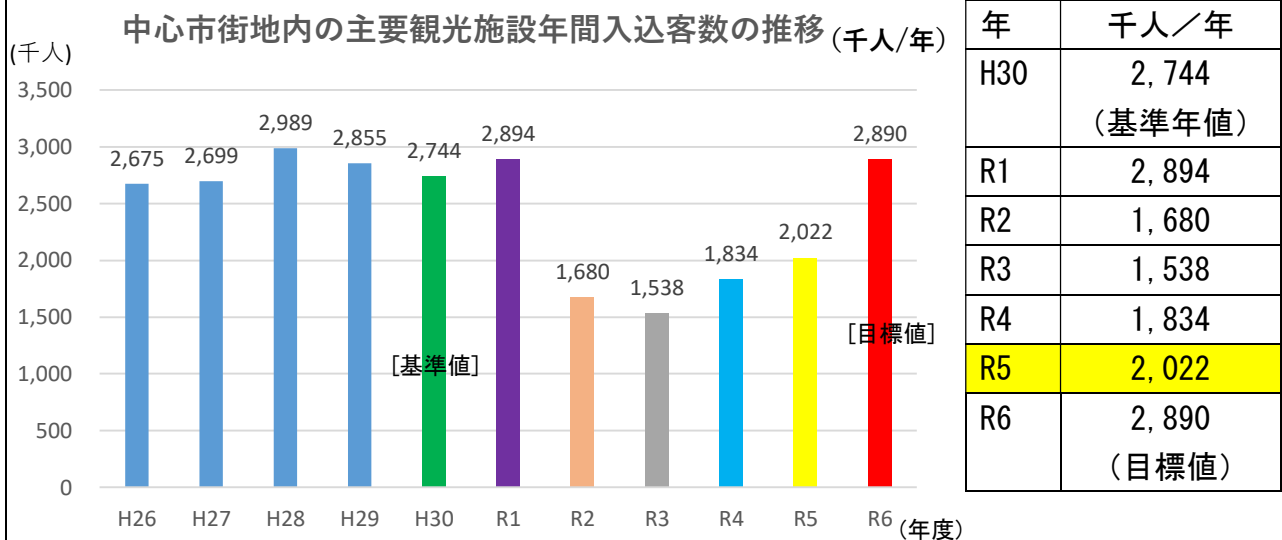
前回から変更はない。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

##### (1)「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」

※目標設定の考え方基本計画P94～P97参照

##### ●調査結果の推移



\*高松市美術館はH27年1月14日～H28年3月25日の間、改修工事のため長期休館

※調査方法：各施設への聞き取り

※調査月：各年1月～12月の施設利用者数

※調査主体：高松市

※調査対象：主要観光施設4か所（高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアム）で計測

(単位：人)

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)
高松シンボル タワー	2,316,000	2,381,000	1,408,000	1,303,000	1,449,000	1,577,000
玉藻公園	199,677	247,050	93,555	78,741	182,692	233,274
高松市美術館	114,228	143,196	138,501	121,084	143,039	138,912
香川県立ミ ュージアム	113,665	122,944	39,936	34,929	59,162	72,959
合計	2,743,530	2,894,190	1,679,992	1,537,754	1,833,893	2,022,145

##### 〈分析内容〉

中心市街地内の主要観光施設年間入込客数の増加に向けた各事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、一部遅れは出ているものの、計画期間内に完了することで進められている。

令和5年度は、高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

1-① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】32,647人 建設工事が概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3年度～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工 令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定

1-② 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】54,250人 令和6年3月22日に新高松駅ビル「TAKAMATSU ORUNE（タカマツオルネ）」開業
事業の今後について	継続的な集客を実現するための販売促進 中心市街地等との連携、違法駐輪対策

1-③ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】 4, 3 9 6 人</p> <p>【最新値】 (72 万人 (2022 来場者) -104 万人) × 22. 2% × 60%  <math>\div \Delta 42, 624</math> 人</p> <p><math>\Delta 42, 624</math> 人 × 69. 1% 73. 2% × (1. 725-1) <math>\div \Delta 15, 631</math> 人</p> <p>高松港周辺で屋外作品の公開を継続している。</p>
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアート資源を活用したアートイベント等を実施し、高松港周辺のにぎわい創出に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

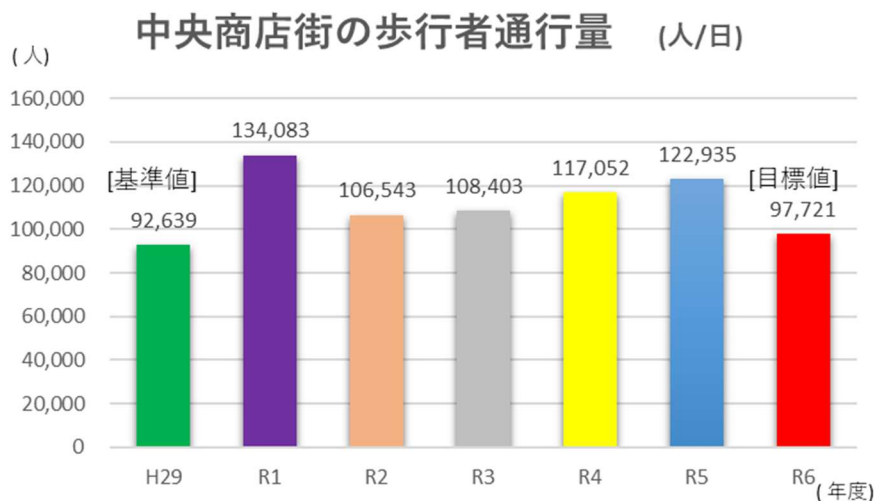
「中心市街地内の主要観光施設の年間入込客数」については、高松空港に就航している国内線の復便や運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加したが、全体としての目標達成は厳しい状況である。

今後はインバウンド来街者が大幅増加していくと予測されており、更には令和7年3月に県立アリーナの開館、4月に大学が移転されるため、入込客数の増加が見込まれる。

(2)「中央商店街における歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画P98～P104参照

●調査結果の推移



年	人/日
H29	92,639 (基準値)
R1	134,083
R2	106,543
R3	108,403
R4	117,052
R5	122,935
R6	97,721 (目標値)

\* R1年度は下半期よりカメラ画像解析による計測を開始したため、下半期数値の平均としている。  
H30年度のデータがないため、H29年度を基準値とする。

※調査方法：中央商店街の15地点で自動計測（カメラ画像解析）を実施

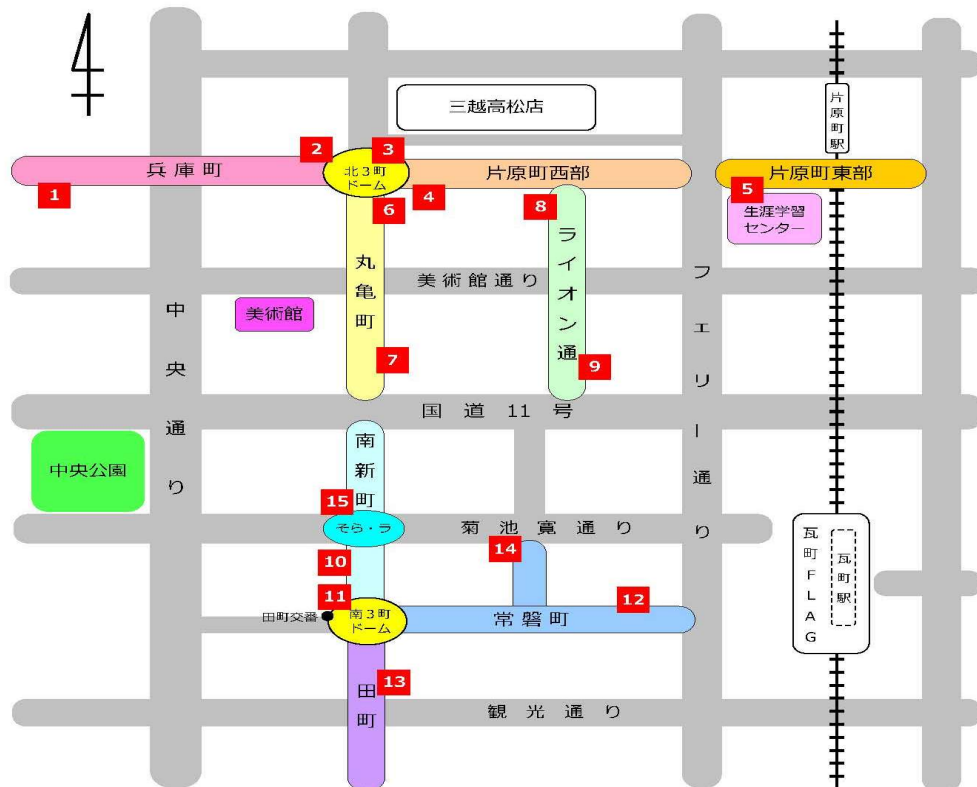
※調査月：各年度4月1日～3月31日

※調査主体：高松市・高松中央商店街振興組合連合会

※調査対象：毎日（10時から19時まで）の中央商店街15地点の歩行者（自転車を含む）



中央商店街通行量調査調査地点（15地点）



〈分析内容〉

目標値設定後の令和元年度以降、目標を達成している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により歩行者通行量は減少していたが、前々年比108%、前年比105%増と増加傾向となり、目標を達成した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

2-① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやM I C Eなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】514人 建設工事が概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後	令和3年度～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工

について	令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定
------	------------------------

2-② 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 【最新値】(23人/日-29人/日) × 0.6 × 2 (往復) ÷ △7人/日 令和4年2月1日に入居済みである。
事業の今後について	令和4年4月25日開業の「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

2-③ 大工町立体駐車場整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、隣接商店街のための利用客用駐車場として運営。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（令和3年度） 中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】455人 【最新値】144台 × 1.67回 × 1.3人/トリップ ÷ 313人 建物全体としては令和4年1月31日の竣工し、駐車場部分については仮使用検査を経て、令和3年12月22日に開業した。
事業の今後について	利用の伸びは、計画をやや上振れ。前年まで少なかった夜18時以降の利用が令和5年12月には増加し、金曜日、土曜日については夜9時頃まで満車が見られるようになった。料金体系の改正など混雑緩和のための措置を検討する必要がある。

2-④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】
事業概要	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（令和3年度～4年度） 中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3～4年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3～4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】302人 【最新値】218人/日÷1105.72㎡≒0.20人/㎡・日 0.20人/㎡×（1105.72㎡×0.7）×0.6×2（往復）×（301/365日）≒153人 令和5年4月に開業1周年を迎えた。今年度より高松市のふるさと納税で讃岐おもちゃ美術館チケットが返礼品で選べるようになっている。
事業の今後について	小学校の遠足など、団体客の受け入れにより、利用拡大を図る。

## 2-⑤ 高松市創業支援事業（高松市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】222人 【最新値】R1年創業者数135人 R2年創業者数165人 R3年創業者数174人 R4年創業者数182人 164名/年×6年(計画期間)×23.3%×13.4%×11.1%≒3店舗 3店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)×312/365日≒332人 令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」を中心に、連携して創業者や創業希望者等を支援している。
事業の今後について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して、創業者や創業希望

について	者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。
------	-------------------------

2-⑥ 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業(株式会社高松南部3町商店街プロジェクト)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】778人(年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定) 【最新値】R1年8店舗 R2年10店舗 R3年14店舗 R4年16店舗 R5年18店舗(6月7店舗+12月11店舗)の新規出店 66店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)≒8,554人 シーズンごとにキャンペーンをまとめてプロモーション企画を実施することで、注目度も上がり、地元プロスポーツチームや企業とのタイアップも広がり、商店街単体だけではできない情報発信ができています。新型コロナウイルス感染症を巡る状況が落ち着いたことから、若手店主や外部との交流会なども再開できるようになった。
事業の今後について	引き続き、商店街の企画・プロモーションを柱としつつ、長期的な活性化を視野に、新たな事業への取り組みも含め、次の活性化プランづくりにも着手していく。 限られたリソースの中で無理なく事業を実施していくための体制・仕組みづくりが課題。

2-⑦ 高松市中央商店街空き店舗活用事業(高松市)

事業実施期間	平成24年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	【事業目標値】1,166人(計画期間内に9店舗の新規出店)

最新値及び進捗状況	を想定) 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 R5年度10店舗 45店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)≒5,832人 改装費の一部助成を継続して実施し、当該空き店舗の利用促進を図るとともに、高松中央商店街のにぎわいを創出した。
事業の今後について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象とする新規出店補助制度を周知啓発し、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

2-⑧ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,166人（計画期間内に9店舗の新規出店を想定） 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 R5年度10店舗 45店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)≒5,832人 令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症拡大による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街webサイトでの情報発信に移行している。 令和5年度から、コロナ禍を理由に休止していた商店街主催イベント（丸亀町祭り、ハロウィンパーティなど）を再開しており、これらの情報を発信している。
事業の今後について	再開された商店街イベントなどの必要な情報発信をwebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。

2-⑨ 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】178人 令和6年3月22日に新高松駅ビル「TAKAMATSU ORUNE（タカマツオルネ）」開業
事業の今後について	継続的な集客を実現するための販売促進 中心市街地等との連携、違法駐輪対策

2-⑩ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】 〔認定基本計画：令和元年度～令和6年度〕
事業概要	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 【最新値】 $\Delta 15,631 \text{ 人} \div 365 \text{ 日} \times 0.6 \times 2 \text{ 往復} \doteq \Delta 51 \text{ 人}$ 高松港周辺で屋外作品の公開を継続している。
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアート資源を活用したアートイベント等を実施し、高松港周辺のにぎわい創出に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

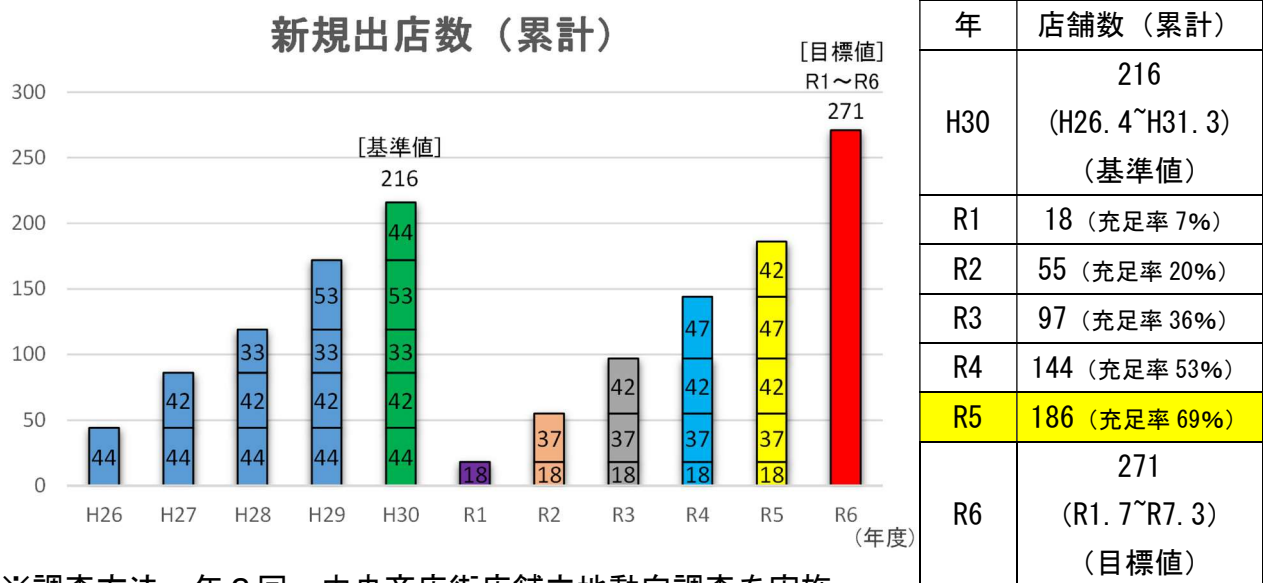
「中央商店街における歩行者等通行量」は、目標値設定後の令和元年度以降、目標を達成している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通行量は減少していたが、令和2年度以降は微増傾向にある。

今後、区域内のマンション完成による居住者や出張・旅行者などの来街者の通行が見込まれるほか、後述する市街地再開事業の完了、更には、高松空港国際線の全線再開によるインバウンドが大幅に増加することが予測されており、これらの経済活動の活発化による、集客の拡大が期待できることから、イベントの実施等も併せて行うことにより、通行量の更なる増加につなげたい。

### (3)「新規出店数」

※目標設定の考え方基本計画P105～P106参照

#### ●調査結果の推移



※調査方法：年2回、中央商店街店舗立地動向調査を実施

※調査月：6月、12月（取りまとめは、7月及び1月）

※調査主体：高松市・高松商工会議所

※調査対象：高松中央商店街を構成する8商店街振興組合

#### 〈分析内容〉

新規出店数の増加に向けた各事業については、概ね予定通り進捗している。令和5年度については、新規出店数は42店舗となり、前年比マイナス5店舗となったが、創業支援制度利用や空き店舗への出店補助件数の増加など、充足率69%と増加傾向にある。

#### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

3-① 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業(株式会社高松南部3町商店街プロジェクト)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進	【事業目標値】6店舗（年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定）

捗状況	シーズンごとにキャンペーンをまとめてプロモーション企画を実施することで、注目度も上がり、地元プロスポーツチームや企業とのタイアップも広がり、商店街単体だけではできない情報発信ができています。新型コロナウイルス感染症を巡る状況が落ち着いたことから、若手店主や外部との交流会なども再開できるようになった。
事業の今後について	引き続き、商店街の企画・プロモーションを柱としつつ、長期的な活性化を視野に、新たな事業への取り組みも含め、次の活性化プランづくりにも着手していく。 限られたリソースの中で無理なく事業を実施していくための体制・仕組みづくりが課題。

### 3-② 高松市中央商店街空き店舗活用事業（高松市）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】9店舗 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 R5年度10店舗 9店舗/年×(1.2-1)×5年9ヶ月(計画期間)≒11店舗 改装費の一部助成を継続して実施し、当該空き店舗の利用促進を図るとともに、高松中央商店街のにぎわいを創出した。
事業の今後について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象とする新規出店補助制度を周知啓発し、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

### 3-③ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	【事業目標値】9店舗



最新値及び進捗状況	<p>【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 R5年度10店舗</p> <p>9店舗/年×(1.2-1)×5年9ヶ月(計画期間)≒11店舗</p> <p>令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症拡大による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街webサイトでの情報発信に移行している。</p> <p>令和5年度から、コロナ禍を理由に休止していた商店街主催イベント(丸亀町祭り、ハロウィンパーティなど)を再開しており、これらの情報を発信している。</p>
事業の今後について	再開された商店街イベントなどの必要な情報発信をwebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。

### 3-④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業(高松まちづくり株式会社)

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】
事業概要	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。
国の支援措置名及び支援期間	<p>中心市街地における低利融資(企業活力強化貸付(企業活力強化資金))(経済産業省)(令和3～4年度)</p> <p>特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減(経済産業省)(令和3～4年度)</p>
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】6店舗(年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定)</p> <p>令和5年4月に開業1周年を迎えた。今年度より高松市のふるさと納税で讃岐おもちゃ美術館チケットが返礼品で選べるようになっている。</p>
事業の今後について	小学校の遠足など、団体客の受け入れにより、利用拡大を図る。

### 3-⑤ 高松市創業支援事業(高松市)

事業実施期間	<p>平成27年度～【実施中】</p> <p>[認定基本計画:令和元年度～令和6年度]</p>
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】2店舗</p> <p>【最新値】R1年創業者数135人 R2年創業者数165人 R3年創業者数174人 R4年創業者数182人</p> <p>164名/年×6年(計画期間)×23.3%×13.4%×11.1%≒3店舗</p> <p>令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」を中心に、連携して創業者や創業希望者等を支援している。</p>
事業の今後について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して、創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「新規出店数」については、アフターコロナによって、出控え傾向であった人流が回復し、夜の飲食店利用や国際線の定期運航再開による訪日客の再訪など、個人消費は持ち直しの傾向にある。令和5年度の新規出店数は、42店舗となり、これまでの状況からは改善されており目標値に近づいてきている。区域内のマンション完成による居住者が増加していることから、幅広い業種が出店する機会が増えることで、今後の新規出店が期待できる。

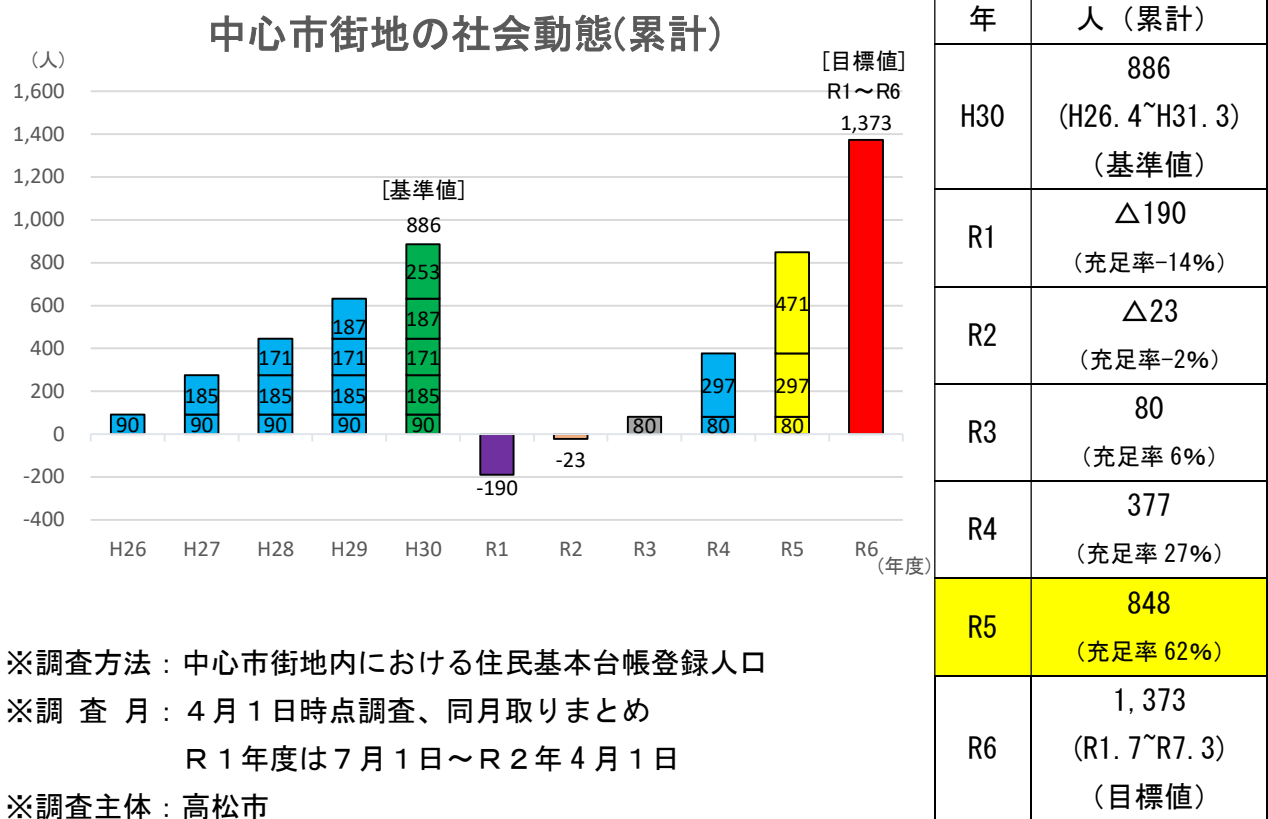
しかし、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響は依然として残ることが予想され、全体としては、目標達成は厳しい状況である。

今後も引き続き官民が連携し、安定した店舗の経営が継続できるよう、各種施策の実施に努めていきたい。

#### (4)「中心市街地の社会動態」

※目標設定の考え方基本計画P107～P109参照

##### ●調査結果の推移



※調査方法：中心市街地内における住民基本台帳登録人口

※調査月：4月1日時点調査、同月取りまとめ

R1年度は7月1日～R2年4月1日

※調査主体：高松市

※調査対象：中心市街地内の居住者

##### 〈分析内容〉

令和5年度は、中心市街地全体で転入2,092人、転出1,621人、社会動態は471人増となり、前期からの累計では、プラス848人となった。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### 4-① 高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業(大工町・磨屋町地区市街地再開発組合)

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
事業概要	中央商店街の一つである丸亀町商店街C街区の東西にある大工町・磨屋町地区で都市型住宅、商業施設、立体駐車場を備えた再開発施設を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業(地域生活拠点型再開発事業) (国土交通省)(令和2年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】83人 再開発組合が、引き続き磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年2月に完了した。

事業の今後について	多世代が居住する共同住宅の整備によるまちなか居住の推進、「讃岐おもちゃ美術館」によるにぎわいの創出、「丸亀町くるりん駐車場」によるアクセス性の向上など、中心市街地の活性化に期待できる。
-----------	--

4-② 高松市常磐町地区優良建築物等整備事業(阪急阪神不動産株式会社・四国旅客鉄道株式会社)

事業実施期間	平成31年度～令和5年度【済】
事業概要	中央商店街の一つである常磐町商店街のジャスコ跡地において、医療施設、子育て支援施設、共同住宅を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業(地域生活拠点型再開発事業)(国土交通省)(平成31年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】167人 事業者が、磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年9月に完了した。
事業の今後について	共同住宅の完成により、多世代が居住する街なか居住の推進はもとより、通行者の増加や消費の喚起につながるなど、中心市街地の活性化にも期待される。

4-③ フラット35活用事業(高松市)

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	高松市立地適正化計画で定める中心市街地区域を包含する居住誘導区域の外から、区域内へ住み替えた世帯に、住宅の建築・購入等費用の一部助成及び住宅金融支援機構と提携し、住宅ローンフラット35Sの金利の低減(当初5年間△0.25%等)を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】104人 【最新値】R1年実績0件 R2年実績1件 R3年実績0件 R4年実績3件 R5年実績1件 5件×2.2人/世帯≒11人 ※再開発事業が令和5年度末完了のため再開発事業による実績の75%は算出式に含まず。 令和5年度の実績は5件(うち中心市街地は1件3人(令和4年度の実績3件8名の人口増のみ))となった。
事業の今後について	住宅フェアの開催など、継続的な周知啓発を行い、より多くの方に制度を利用してもらえるよう努めていく。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地の社会動態」については、目標値から62%と大きく乖離しており、目標達成は厳しい状況である。

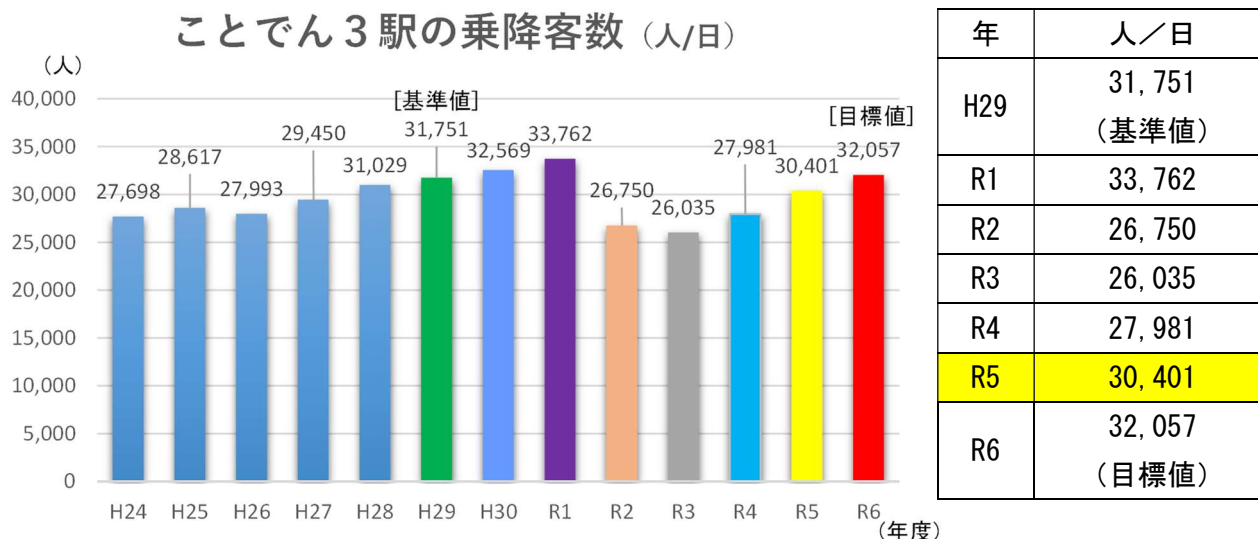
しかし令和5年度は、市全体の人口が減少傾向にある中でも、中心市街地の人口は増加傾向となっている。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続くと思込まれる。

現在、実施しているフラット35活用事業の周知啓発や、空き家等の既存ストックの流通を促進する住宅施策を展開するなど、中心市街地で居住選択されるよう効果的な事業の検討・実施に努め、人口増につなげたい。

## (5)「(参考指標)ことでん3駅の乗降客数」

※目標設定の考え方基本計画P110～P112参照

### ●調査結果の推移



※調査方法：高松琴平電気鉄道株式会社へ聞き取り

※調査月：毎年1月1日～12月31日

(H24～H30は毎年4月1日～翌年3月31日で集計)

※調査主体：高松琴平電気鉄道株式会社

※調査対象：ことでん3駅（高松築港、片原町、瓦町）の乗降客数

### 〈分析内容〉

令和5年のことでん主要3駅の乗降客数は、30,401人と前年比109%と増加した。また、通勤通学による定期利用を除く乗降客数が前年比118%となるなど、アフターコロナによる観光客の増加によって、観光客が公共交通を利用して移動することで、乗降客が増加したことが一因と考えられる。

一方定期利用については、高松市においてはテレワークによる減少幅は少なく、通勤利用客については大きな増減はないが、前年比103%とわずかながら増加傾向となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

5-① 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2人/日 【最新値】(23人/日-29人/日) × 12.4% × 55.1% × 2 (往復) ≒△1人/日 令和4年2月1日に入居済みである。
事業の今後について	令和4年4月25日開業の「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

5-② 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】181人/日 建設工事が概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3年度～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工 令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定

●目標達成の見通し及び今後の対策

「ことぞん3駅の乗降客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大状況によって影響を受けやすく、利用客数が減少していたが、アフターコロナになり人流は回復傾向となっている。しかし、依然として目標達成は厳しい状況となっている。

今後は、目標達成に向けた計画掲載事業の推進や、環境配慮の面からも公共交通機関の利用を促すなど、目標値に近づけていきたい。